

2021年度 事業計画書

【A】調査・研究事業

A-1 学校情報伝達システムの調査・研究

1. 通信づくり講習会、新聞教育指導者講習会等、教師又は大学の教職課程の学生を対象とした講習会を開催する。また、ビデオ会議システム(ZOOM等)を備え、時代に即した対応も実施する。
2. 学校における各種通信の教育効果についての調査・研究
 - ・GIGA スクール構想などを含む情報インフラの変化を見据え、通信活動のあり方を調査・研究する。
3. いじめのないよりよい学級づくりの調査・研究
 - ・はがき新聞を利用した学級力向上研究会等の研究活動を支援し、よりよい学級づくりの事例を集め、全国に伝播する。
 - ・全国伝播の一環として、関東・中部・関西合同の拡大研究会をオンライン方式にて開催する。本会は、新規参加者向けの研究会とする。開催日程は10～12月を予定。

A-2 教師による自作教材の調査・研究

学習プリントをカラー化することによる教育効果や視覚的效果などについて調査・研究をする。
カラー化された研究成果を冊子化し授業ノウハウの共有化を図る。

A-3 児童・生徒による創作表現活動の調査・研究

1. はがき新聞の教育効果に関する調査・研究
 - (1)コンパクトテキストによる文章表現力育成についての研究
 - ・はがき新聞、言葉のポケット等の教材を充実させ、書く力の育成をサポートする。
 - (2)はがき新聞研究会によるノウハウ集約と実践の伝播
 - ・はがき新聞の拡大研究会をオンライン方式にて開催し、全国に向けはがき新聞実践ノウハウを提供する。
 - ・日時 令和3年8月28日(土) 13:00～16:30(予定)
 - (3)地域における小規模フォーラムの企画実施
 - ・各地の教育機関と連携し、地域に根ざしたミニフォーラムを開催することにより、地域への情報提供を図る。

【B】情報提供事業

B-1 教育関連出版物の刊行

既存刊行物の増刷、再編集等(古くなった刊行物等のWeb化により、在庫削減を図る。)

B-2 研究情報誌の発行

機関誌「季刊理想」の発行。内容充実のため、現場取材(オンライン取材含む)を励行し、分かりやすく実践に即した情報を盛り込む。

B-3 ホームページの運用

財団事業の告知や活動報告、情報開示のほか、プリントコミュニケーション活動に役立つ情報の提供をさらに充実させる。

・学級力向上プロジェクトのページを新設し、活動の概要、はがき新聞との連携について理解促進を図る。

・森山卓郎教授監修の「はがき新聞オンライン学習支援プリント」をすぐに印刷して授業や自習にも使えるコンテンツとして掲載を検討。

【C】助成・顕彰事業

C-1 後援・支援の事業

1. 文化芸術教育の充実に関する事業への助成

各地の教育委員会が主催する、学校における文化芸術活動の発展・充実と、児童・生徒の健全な育成を目的とする事業を支援する。

2. その他、プリントコミュニケーション活動、コミュニケーション文化の発展に関わる事業に必要な応じ助成・支援する。

C-2 新聞教育の普及・振興

1. 第71回「全国小・中学校・PTA新聞コンクール」の後援

主催：毎日新聞社、全国新聞教育研究協議会 上位受賞校に対し、理想教育財団賞と副賞を提供する。

2. 第63回「全国新聞教育研究大会」千葉大会の後援

3. 地域の新聞教育に対する支援

・「岩手県小・中学校新聞コンクール」「きゅうでんはがき新聞コンクール」他、各地で開催されるコンクールを支援する。

C-3 日本人学校等への支援・助成

1. 児童図書への寄贈

海外日本人学校(補習授業校を含む)10校に対し、1校あたり児童図書約40冊を寄贈する。

2. 海外・日本語教育及び途上国への教育支援

C-4 コンクールの開催・顕彰

第17回プリントコミュニケーションひろばについては、予算縮減の為に中止とした。デジタル機器の普及、今後のネットワークインフラの進化による通信事情の変化を見据え、コンセプトの再構築をした上で2021年度より再出発を図る。尚、中止した2020年度のコロナ禍における通信も記録に残すべく作品集化を検討する。

その他

・新規事業検討の件

本件については、コロナ禍の影響及び予算の大幅減の為に、調査活動として継続する。

以上